

令和8年度第1回 大山崎町障がい者基本計画等策定委員会 議事録

令和8年6月22日（月）14：00～15：10

大山崎町役場3階中会議室

○次第

1. 開会
2. ご挨拶
3. 自己紹介
4. 委員会運営事項について
 会議録の作成／公表
 委員名簿の公表
 傍聴について 等
5. 審議
 - 1) 計画策定の趣旨について
 - 2) 計画策定のスケジュールについて
 - 3) 事業所アンケートについて
 - 4) 団体ヒアリングについて
6. その他
7. 閉会

配付資料

資料1 今後のスケジュール

資料2 大山崎町障がい福祉計画、障がい児福祉計画の見直しにかかる
アンケート調査 実施要領・事業所アンケート調査

資料3 大山崎町障がい福祉計画、障がい児福祉計画の見直しにかかる
団体ヒアリング調査 実施要領・団体ヒアリング調査

1. 開会

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまから「令和8年度第1回大山崎町障がい者基本計画等策定委員会」を開催いたします。

2. ご挨拶（健康福祉部長挨拶）
3. 自己紹介（委員・事務局）
4. 委員会運営事項について

【事務局】（会議録の作成／公表、委員名簿の公表、傍聴の許可等の説明）

5. 審議

【事務局】

(資料1 今後のスケジュールについて説明)

(資料2 大山崎町障がい福祉計画、障がい児福祉計画の見直しにかかるアンケート調査 実施要領・事業所アンケート調査について説明)

(資料3 大山崎町障がい福祉計画、障がい児福祉計画の見直しにかかる団体ヒアリング調査 実施要領・団体ヒアリング調査について説明)

【委員長】

事務局から説明がありましたが、ご質問ご意見等はございますか。

1) 計画策定の趣旨について
意見なし

2) 計画策定のスケジュールについて
意見なし

3) 事業所アンケートについて

【委員】

事業所アンケートの9ページで「医療的ケア児」となっているが「児」だけでよいのだろうか。

【事務局】

前回の調査票と同じ表現としていたが、「者」も含めた表現とする。

【委員】

問3で受け入れ（サービス提供）できなかったことが「ある」事業所についてはその内容を聞いているが、「ない」事業所にもどうしてなかったのか理由を聞いた方がいいのではないかな。

【事務局】

問4の後に「ない」理由を記述形式で答えてもらう設問を追加する。

【委員長】

設問に「研修」に関する内容が入っていなかったがあってもよいのではないかな。

【事務局】

人材育成に関する設問として「研修」の状況を聞く設問を追加する。

【委員】

最近、就労継続支援B型の事業所が多くできてきているが、それらの事業所も調査対象となるのか。

【事務局】

あくまで1年以内に大山崎町の方が利用をした事業所という基準で対象を選んでいる。そのため利用者のいない事業所は対象から外させていただく。

【委員】

乙訓圏域において就労継続支援B型や児童発達支援、放課後等デイサービスの事業所が供給過多気味ではないかという意見を聞いたりする。できるだけ広い範囲を対象に調査していただければと思う。

【事務局】

大山崎町民の利用のない事業所まで広げると数がかなり増えてしまう。全国的にも総量規制をどうしていくかが課題になってきていることは認識している。ご意見として検討させていただく。

4) 団体ヒアリングについて

【委員】

団体ヒアリング調査票の4ページで「施設」での生活とあるが、これは「入所施設」をさしているのか、「グループホーム」も含んでいるのか。

【事務局】

ここでは「施設入所」を想定している。表現を修正する。

【委員】

大山崎町内に入所施設はないので、そうすると「入所施設を出て大山崎町に戻ってくるために必要なこと」という意味合いになるのか。

【委員】

「入所施設」以外にも「病院からの退院」についても同じことを聞くべきではないか。

【事務局】

「病院からの退院」も含め表現を修正する。

【委員】

事業所アンケートでも聞いていた「合理的配慮」について、団体ヒアリング調査でも聞いてはどうか。

【事務局】

「合理的配慮」についての設問を追加する。

【委員】

事業所アンケートは大山崎町の人が2人以上利用しているところが対象とお聞きしたが、団体ヒアリング調査も同じような対象の選び方なのか。また前回調査の回収状況もお聞きたい。

【事務局】

事業所アンケートは、前回 90 事業所に配布し 53 事業所から回収、回収率 58.9%であった。団体ヒアリング調査は 17 団体に配布し、13 団体から回収、回収率 76.5%であった。団体ヒアリング調査の対象は障がい者団体として活動されているところなので、何か条件で絞り込むということはせず、今回も前回と同様の団体に配布予定である。

【委員】

前回は「やまびこ」は団体ヒアリング調査の対象であったが「事業所」ではないのか。

【事務局】

前回と同様での実施を想定したので「団体」として考えていたが、「事業所」として活動いただいている面も当然あるので、ご意見も踏まえ事業所アンケートの対象とする方向で検討させていただく。

【委員】

前回の事業所アンケートの回収率が 58.9%と低かったようだが、その理由について前回は議論があったのか。

【事務局】

何が原因かという議論にまでは至らなかったが、ご回答いただいた意見の中で「回答に手間がかかった」という声もあった。そのため、今回は紙での回答以外に、希望する事業所には Excel 形式の回答フォームを提供し、パソコンで入力作業を行っていただけるようにすることで、少しでも多くの事業所に回答してもらい回収率を上げたいと考えている。

【委員】

前回の時には所属する会の会長のところに来ていたと思うが、それぞれの委員のところに配っていた記憶がなく、委員全員に聞いていたわけではないように思う。

【事務局】

事業所アンケートも団体ヒアリング調査も、それぞれ代表のところへ1通を送付させていただく。所属メンバー一人ひとりが回答するということではない。それぞれの団体のなかで、会長がお一人で回答いただくのか、それとも各委員にも配って意見を出してもらいそれを集約するのかは、団体ごとのやり方となる。

【委員】

今回の第2回策定委員会の際には調査結果や回収状況の報告があると思うが、その時に前回の回収状況との比較とか、回答のあった事業所、回答のなかった事業所の比較などを出してもらえればと思う。

【事務局】

回収状況の報告はさせていただくが、事業所や団体の個別の回答の有無については確認させていただく。

6. その他

【委員】

地域生活支援拠点について新しい事業所が立ち上がったが、その中で緊急事態に対応するところが3床あると聞いている。そのあたりの登録状況など把握していることがあればお聞かせいただきたい。

【事務局】

事業所として新たに登録したところが1事業所あるが、こちらについては後日

公表させていただく予定となっている。

7. 閉会